

東松島市一心

ICT地域の絆保存プロジェクト「東日本大震災を語り継ぐ」事業

東日本大震災東松島市被災状況写真集

【宮戸】

奥松島縄文村歴史資料館

宮戸市民センター周辺

発行・編集 宮城県東松島市教育委員会
生涯学習課 東松島市図書館

東日本大震災東松島市被災状況写真集について

東松島市内で撮影された写真を中心に収集し、以下のようなメタデータを付与しました。
地区・目標物・日付・テーマごとに整理し、1冊ずつの電子写真集として公開しています。

メタデータ付与内容

(1) 地区コード・目標物 (2) 記録区分コード (3) 寄贈者No (4) 写真No (5) 寄贈者・日付・内容

【例】

矢本地区・蔵しっくパーク_震災時_東松島太郎_写真No_東松島太郎_2011.3.11_北側玄関

0420_2_001_000001_東松島太郎_2011.3.11_北側玄関

(1)地区コード : 31地区

(2)記録区分コード : ①震災前 ②震災～1か月 ③1か月～2か月 ④2か月以上
⑤2012.5.1～ ⑥2013.4.1～ ⑦2014.4.1～

※写真の中でご本人・ご家族が掲載され希望されない場合はお手数でも下記までご連絡を頂ければ幸いです。
また、こちらをご覧になれる方は震災当時を思い出し体調を害される場合がありますのでご注意ください。

問合せ先:宮城県 東松島市図書館 Tel 0225-82-1120(火～金曜日 10:00～18:00)



東松島市一心

ICT地域の絆保存プロジェクト「東日本大震災を語り継ぐ」事業

東日本大震災東松島市被災状況写真集

【宮戸】

奥松島縄文村歴史資料館
宮戸市民センター周辺

2011.3.11～2011.4.10

記録区分コード2

発行・編集 宮城県東松島市教育委員会
生涯学習課 東松島市図書館



宮城県東松島市

2203_2_018_011652_東松島市(広報)_2011.3.25_縄文村資料館北側



宮城県東松島市

2203_2_018_011653_東松島市(広報)_2011.3.25_縄文村資料館北側



宮城県東松島市

2203_2_018_011654_東松島市(広報)_
2011.3.25_縄文村資料館北側



宮城県東松島市

2203_2_018_011655_東松島市(広報)
_2011.3.25_縄文村資料館北側



宮城県東松島市

東松島市一心

ICT地域の絆保存プロジェクト「東日本大震災を語り継ぐ」事業

東日本大震災東松島市被災状況写真集

【宮戸】

奥松島縄文村歴史資料館

宮戸市民センター周辺

2011.5.11～2012.4.30

記録区分コード4

発行・編集 宮城県東松島市教育委員会
生涯学習課 東松島市図書館

2203_4_018_021547_東松島市(広報)_2011.7.29_縄文村資料館南側



宮城県東松島市



宮城県東松島市



宮城県東松島市



宮城県東松島市



2203_4_031_037600_東松島市図書館_2011.9.13_縄文村満潮冠水

宮城県東松島市



宮城県東松島市

2203_4_031_037602_東松島市図書館_
2011.9.13_縄文村満潮冠水



宮城県東松島市

2203_4_031_037603_東松島市図書館_
2011.9.13_縄文村満潮冠水



宮城県東松島市

2203_4_018_022300_東松島市(広報)_2011.9.15_縄文村満潮冠水



宮城県東松島市

2203_4_018_022302_東松島市(広報)_2011.9.15_縄文村満潮冠水



宮城県東松島市



2203_4_018_022303_
東松島市(広報)_2011.9.15_
縄文村満潮冠水

宮城県東松島市

2203_4_018_022295_東松島市(広報)_2011.9.15 縄文村満潮冠水



宮城県東松島市

2203_4_018_022296_東松島市(広報)_2011.9.15_縄文村満潮冠水



宮城県東松島市



宮城県東松島市

ボッシュの奉仕循環型社会

「私は、社会のあらゆる困窮を
和らげるだけでなく、
特に人々の道徳、健康、そして
知力を高めることを目指します」



ボッシュ・グループからのコンテナハウス寄贈にあたって、世界約150カ国で事業展開しているボッシュ・グループから、創業者ロバート・ボッシュの「社会奉仕」の精神に基づき、2011年3月11日の東日本大震災により甚大な被害を受けた宮城県東松島市に、300ユニットのコンテナハウスを寄贈します。



BOSCH
Invented for life

「社会」に対して「企業」が奉仕する。「社会」における公共福祉の充実によって「市民」は安定した生活環境、健康で豊かな暮らし、十分な「教育」を受ける機会を得る。「教育」によって優れた人材が育てられる。その優れた人材が「企業」の一員となり、「企業」はさらに成長する。成長によって生み出された利益で、「企業」はまた「社会」に奉仕することができる。

このような持続的な循環によって社会全体がさらに発展していく「奉仕循環型社会」という創業者の理念を、ボッシュ・グループは現代社会に適合させた形で実践しています。

宮城県東松島市



宮城県東松島市



宮城県東松島市



宮城県東松島市



2203_4_031_038868_東松島市図書館_2011.10.5_宮戸市民センター内装

宮城県東松島市

協力機関の紹介

この震災の写真集を整理するにあたり、以下の団体の協力を頂くことで公開することができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

公益社団法人 日本図書館協会

東日本大震災 震災対策委員会

学校法人 白百合学園

白百合女子大学

仙台白百合女子大学

東松島市図書館

おわりに

2011年3月11日東日本大震災は多くの尊い人命を奪い、また、住民の生活やコミュニティの絆、伝統・文化・産業など、地域に甚大な被害を及ぼしました。「復興への提言」(東日本大震災復興基本法に基づき、東日本大震災復興構想会議を設置)において、この大震災の記録を永遠に残し、広く学術関係者により科学的に分析し、その教訓を次世代に伝承し国内外に発信すると提言しています。

東松島市では4つの復興まちづくりの基本方針を定め復興を目指しております。

【1】防災・減災による災害に強いまちづくり ～防災自立都市の形成～

【2】支え合って安心して暮らせるまちづくり

【3】生業の再生と多様な仕事を創るまちづくり

【4】持続可能な地域経済・社会を創るまちづくり

【1】においては、防災・減災体制の強化に必要なこととして、津波体験の検証・共有化や、防災教育を徹底させることを挙げています。このことから、震災や津波の体験を風化させず、悲劇を繰り返さないためには、その「恐ろしさ」「威力」等について記録し、誰でも見ることができるよう、公開していく必要があります。そして、【3】においては、被災した産業、観光等の復興の促進を現在目指しています。このような中、被災地を観光で支援する人、修学旅行等で防災・減災学習として被災地を訪れる人が増えています。しかし、復旧が進み、土地は更地となり、震災前の人々の営み、震災の痕跡がなくなり、記憶の風化も否定できません。同時に、現状の被災地と震災当時の写真や映像等で定点的に実感したいとの希望もあります。

このことを踏まえ、東松島市では、図書館が平成24年度においては、公益財団法人図書館振興財団より助成を受けて以下の内容を構築し、平成25年5月より一部公開をはじめ、現在に至ります。

①震災の新聞記事スクラップ

②住民等が災害時に記録した写真

③被災住民の被災体験談や流された地域の文化や伝統を動画や音声による収録

④各種活動記録(避難所・仮設住宅等)やチラシ・回覧資料・学校便り等の収集

皆様からの物心両面に渡るあたたかいご支援を忘れないために、御恩を後世に残せるよう、発信ができることも念頭に内容の充実にも努めています。引き続き皆様のあたたかいご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

東松島市図書館